

農林水産統計デジタルアーカイブ講座の概要

設置年月日（寄附受入期間）	平成24年4月1日（寄附受入期間：平成24年4月1日～平成29年3月31日）
大学名（研究科名）	京都大学（大学院農学研究科）
寄附講座の名称 （英文名）	農林水産統計デジタルアーカイブ講座 (Statistical Digital Archive of Agriculture, Forestry and Fisheries)
担当教員	特定准教授 1名 特定助教 2名
研究目的等	「客観的証拠に基づく政策」（evidence-based policy）を企画・立案するために必要不可欠なデジタルアーカイブによる農林水産業に関わる統計情報の二次利用基盤の形成を進め、農林水産業に関わる情報提供の一元化、ならびに統計情報の高度解析手法研究および高度実証研究のための共同研究の拠点の基盤形成を目指し、これらに必要な研究を関連分野と協力して進め、若手人材を育成する。また、その成果により農学部／研究科全体のまた京都大学の関連領域の研究・教育に寄与する。
研究内容等	関連分野と共同し、プロジェクト研究として、第一に、戦前・戦後を含む政府、農業団体等による農林水産業に関する統計調査のデジタルアーカイブの構築（農林水産業に関わる統計情報の二次利用基盤の形成を含む）に関する研究、第二に、同一統計調査の年度間データリンケージおよび複数統計調査間のデータリンケージによる統計情報の高度化に関する研究、第三に、農林水産統計の高度利用手法の確立に関する理論的研究および政策検証、農業経営課題等に関する実証的研究を深化させるとともに、農林水産業のデジタルアーカイブを構築し統計情報共同利用・共同研究の拠点形成を進める。
研究課題等	(1) 農林水産業のデジタルアーカイブ構築、および関連領域に関する研究 (2) 統計調査のデータリンケージによる統計情報の高度化、および関連領域に関する研究 (3) 農林水産統計の高度利用手法に関する理論的実証的研究